

事業概要

事業No.

年度 令和3年度 担当課 障害福祉課

事業名称	障害者週間記念事業			
主催者	船橋市			
開催経緯等	障害者基本法第9条で定められている障害者週間(12月3日～9日)に合わせた事業。R3年度は27回目の事業実施。H29年度から令和3年度まではらぼーとTOKYO-BAYで開催した。			
事業趣旨 (目的)	障害や障害のある人への理解と関心を深めてもらうとともに、障害のある当事者自身がイベントに参加することにより社会参加への意欲を高めてもらう。令和3年度については、コロナ禍においても実施できる内容として、作品展に加え、発達障害のVR体験会を実施した。			
基本方針における 事業の位置付け 3段階評価	気づき始まる	2	該当施策 (選択)	基本目標Ⅲ育みつなげる施策② 市民が主体的に文化に関わりつながりを持てる仕組みの構築
	学び楽しむ	3		
	育みつなげる	3		
	活かし伝える	1		
参考指標	来場者(船橋市民)の理解促進度(%)	指標値	100%	
指標値設定の理由	過去の実績を基に算定。(過去4回該当設問を設けたアンケートを実施したが、99%が2回(H30、R3)あるので目標は100%とした。なお、R3年度以外は市外の方の回答も含む数値)			
事業内容	<p>日時: 令和3年11月12日(金)、13日(土) 各日10時～17時</p> <p>会場: ららぼーとTOKYO-BAY 東の広場</p> <p>イベント内容: ①障害のある方の作成した作品の展示、②発達障害のVR体験コーナー</p> <p>作品展示内容: 絵画(油絵、水彩画、カレンダー原画等)、手芸・陶芸・工芸品等</p>			
協議会からの助言提案等を受けてのコメント				
予算額	市予算			727,000円
	国・県等補助等(名称:地域生活支援事業補助金)			591,000円
	協賛・他県等負担金			0円
	その他(入場料収入等)			0円
	計			1,318,000円

事業実績

年度

令和3年度

担当課

障害福祉課

事業名称	障害者週間記念事業		
開催実績	<p>日時: 令和3年11月12日(金)、13日(土) 各日10時～17時 会場: ららぽーとTOKYO-BAY 東の広場 イベント内容: ①障害のある方の作成した作品の展示、②発達障害のVR体験コーナー 作品展示内容: 絵画(油絵、水彩画等)、手芸・陶芸・工芸品等359点 市内小学校在校生が作成した障害者理解啓発ポスター12点も展示 出展団体数: 13団体 来場者数: 2,039人</p>		
指標値 (実績)	99%	情報発信 方法・媒体	<input type="checkbox"/> 広報: 広報ふなばし11/1、市HP掲載、市twitter、プレスリリース10/29、イベントチラシを市内全小中学生や市内障害福祉サービス事業所等を対象に配布 <input type="checkbox"/> プレス掲載記事: MyFuna11月号
決算額	市予算	421,000円	
	国・県等補助等(名称: 地域生活支援事業補助金)	400,000円	
	協賛・他県等負担金		
	その他(入場料収入等)		
	計	821,000円	
実施後一最も関連の深い基本目標と施策を選択	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 市民が主体的に文化に関わりつながりを持てる仕組みの構築		
一次評価			
目的に対する事業実績の達成状況	来場者数はコロナ禍以前と比較すると減少しているが、来場者(船橋市民)へのアンケート回答結果による理解促進度は99%であり、目標の100%に限りなく近い数値であった。		
今後の事業課題	例年、同じ団体等が出展する傾向にあるため、新規出展者の掘り起こしが課題である。出展実績があるが近年出展していない団体等に働きかけることや、障害特性によって出展に踏み切れない方のことを想定した工夫が必要と考えられる。 また、開催場所については、今後ららぽーとの広場を借用できない可能性もあり、安定的な会場の確保も課題の一つである。		

協議会委員評価欄

文化振興との 関連性	密接に関連する		協議会からの 助言・提案等	
	関連がある			
	関連性が薄い			
重点プロジェクト との関連性	密接に関連する	P1		
		P2		
	関連がある	P1		
		P2		
関連性が薄い				